

平成 16 年 6 月 8 日
< 4953 佐々木 朗 >

大学祭への取り組みについて（一つのアイディアとして）

1. はじめに

5 月に入り、ホールの掲示板に学校祭のポスター募集の掲示があった。私は美術心などま
ったくないので、学校祭に参加し、楽しませてもらうかと考えていた。

「どんな学校祭なのかな。何をやるのかな。」などと思っていたが、どうも全体像が見え
て来なかった。申し訳ないことではあるが、私自身、この大学の昨年度の学校祭には顔を
出しておらず、また、学生時代の学校祭の印象もほとんど残っていないのである。

しかしながら、教員を長いことやっていると、今まで見えなかったことが見えて来るこ
とがある。行事实行委員さん達のご苦勞をねぎらいつつ、母校の発展を思う一学生として、
学校祭について思うことを述べたい。

2. 本校の学校祭の状況について

あくまでも伝聞ということで事実と違ったらお許しいただきたい。

- ・各研究室の代表からなる行事实行委員が学校祭を運営する。
- ・事務職員、教官はどちらかというところノータッチである。
- ・体育館での出し物、模擬店などが多い。
- ・パンフレットを用意し、来場者に配布している。

2. 私の考える学校祭のイメージ

(1) 学校祭の基本

大学を P R する絶好の機会ととらえ、職員・学生が協力をして、全学あげての取り組
みとする。

文化的価値を重視し、教育系大学としての学習実践を発表する場であってほしい。

(2) 目的

北海道教育大学大学函館校を一般市民・将来入学するであろう子どもたちに P R する
絶好の場として、自分達の日頃取り組んでいる学業、部活動、その他についての発表
の機会とし、文化活動を創作していく場である。

大学経営の一環として、職員、学生が一丸となって、活動し、人間交流を深める場
である。

(3) 内容

自分達のサークルや学習、その他の取り組みを、発表し、体験をしてもらう活動

例：実験、展示、体験モノづくり、5 分間プレゼン、作業(活動)体験、ステージ発表
など

サービスを提供する活動

例：模擬店(留学生のお国料理)など

その他

例：スタンプラリーなど